NO.12
2016年3月10日
発行所＊社会福祉法人福島福祉会
〒960-0211
福島県福島市飯坂町湯野字梁尻1-1
TEL024-542-8822
発行者　清野恭子

GLnet　会報

JKA補助事業「お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動」＆グループリビング運営協議会

■グループリビング運営協議会の活動の変遷

2012 年から始まったグループリビング運営協議会は、発足してから 4 年を終えようとしています。これまでの活動は、会員の皆様、公益財団法人 JKA、WAM 独立財団法人福祉医療機構、北海道新聞の支援によって行われました。今回の特集は、これまでの活動の変遷について整理しました。

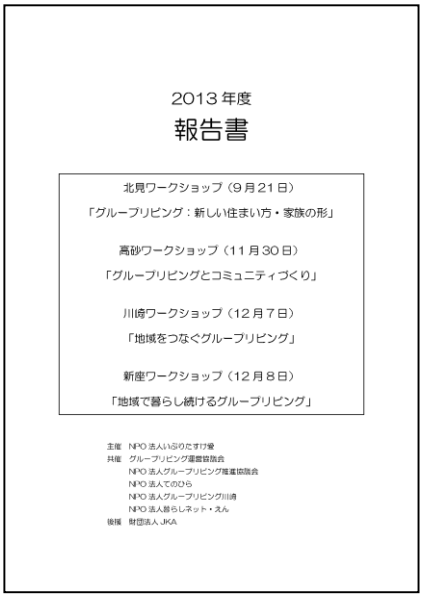
年	活動内容	事業主体	共催または後援、協力		助成・補助等
2008	JKA補助事業高齢者グループリビング支援事業を開始	NPO法人 COCO 湘南台	―		JKA
2010	高齢者グループリビング支援事業				
2011	登別ワークショップ		NPO法人 いぶりたすけ愛	慶應義塾大学 SFC研究所 地域協働・ラボ	
	たすけ愛の家見学会				
2012	グループリビング運営協議会発足				
2012	横浜ワークショップ	NPO法人 いぶり たすけ愛	NPO法人 COCO湘南台	グループリビング 運営協議会・ 慶應義塾大学 SFC研究所 地域協働・ラボ	JKA
	COCO湘南台見学会				
	ドリームハイツ見学会		NPO法人 ふらっとステーション		
	北海道に「自立と共生の暮らし」を広げる活動 研修会　IN　釧路		NPO法人 わたぼうしの家		北海道新聞
	北海道に「自立と共生の暮らし」を広げる活動 研修会　IN　札幌		アルスタウン		
	タウン白楊見学会		タウン白楊		
2013	高砂ワークショップ		NPO法人てのひら		JKA
	グループリビングてのひら見学会				
	北見ワークショップ		NPO法人 じゅげむ館きたみ		
	じゅげむ館きたみ見学会				
	川崎ワークショップ		NPO法人 グループリビング川崎		
	COCO宮内見学会				
	新座ワークショップ		NPO法人 暮らしネット・えん		
	えんの森見学会				
2014	福島ワークショップ	社会福祉法人 福島 福祉会	―		WAM
	モーニング見学会				
	米沢ワークショップ		NPO法人 結いのき		
	COCO結いのき見学会				
2015	奈良ワークショップ		社会福祉法人 秋篠茜会		JKA
	あやめの里見学会				
	コミュニティハウス法隆寺見学会		コミュニティハウス法隆寺		
	東広島ワークショップ		NPO法人 人間大好き		
	明日への風見学会				

これまでの活動では、各地のグループリビングに集い、地元の方たちと一緒にワークショップと見学会を行い、地元の方たちにもグループリビングへの理解を深めていただくとともに、協議会メンバーは各地の現場から学ぶということをテーマとしています。全国で見学会とワークショップを開催し、その成果を「訪問記」、「報告書」として冊子にまとめ頒布しています。

2013 年度訪問記

2014 年度訪問記

2015 年度訪問記



2013 年度報告書

2014 年度報告書

2015 年度報告書

ワークショップ

見学会

グループリビング運営協議会について　1

久留米大学
文学部社会福祉科
教授　浜崎　裕子

「集まって住む」という居住形式に関するハードとソフトの関係性ついては、学生時代からの一貫した研究テーマです。グループリビングに関して、一般的情報はもっていましたが実際どのような生活が営まれているのか分からぬまま、COCO 湘南に見学・宿泊させていただき、西條さんをはじめ皆さんとの会話や暮らしぶりを拝見して、新しい居住のあり方として関心が高まりました。

その後、北海道の事例訪問を通して、それぞれの場所で設置背景、地域との関わりや入居者特性も多様であることを実感し、もっと情報を得たり、関係者と意見交換してみたいと思って入会しました。まだまだ、会の活動自体が分かっていない現在ですが、この協議会の魅力は現場の人と研究者が一緒になって議論したり交流したりしていることです。そして、皆さんがグループリビングに関して一定の思いを共有し、オープンマインドであることも、新参者としては仲間が増えたような喜びを感じています。

現在、「地域包括ケアにおける高齢者の居住のあり方」をテーマに研究しています。国の提示するサービス付き高齢者向け住宅やそれに類似するホームか自宅かというのでは現実のニーズに応えきれないことを踏まえ、今後一人暮らし高齢者が益々増えていく中で、グループリビングは高齢者の居住形態の一つの選択肢として地方自治体などが位置づけていくことを提案したいと思います。一人暮らしの不安さえなければ、もっと自立して豊かな生活を送ることができる高齢者の実態に目を向け、それに相応しい住まいのあり方の一つが、地域とのつながりをもつグループリビングではないかと考えています。

これを普及するには、その企画段階におけるコーディネーター（個人あるいは NPO 等の団体）の育成や持続的安定運営のしくみの開発など課題もあると思います。そのようなことを今後の協議会の議論のなかで話し合っていくことを望んでいます。

今後もグループリビング訪問による現状把握や研究者の方々のこれまでの知見の蓄積に学び、グループリビングという居住形態の展開に関わっていきたいと考えています。

グループリビング運営協議会　会員募集中

一緒に活動しましょう！

■グループリビング運営協議会　連絡先　土井原奈津江　NPO 法人 COCO 湘南内
TEL　0466－46－4976　・　FAX　0466－42－5767　（1PM～5PM・平日）

グループリビング運営協議会について　2

慶應義塾大学大学院
社会学研究科
後期博士課程
近兼　路子

グループリビング運営協議会に入会させていただいたのは、大学院で家族ではない他者と暮らす高齢者を対象に研究を進める中で、グループリビングという住まい方についてより深く知りたいと思うようになったからです。

協議会の活動については、総会およびワークショップにそれぞれ 1 回ずつ参加したのみですが、個人としては運営者の方々の観点を学ぶことができ、大変ありがたく思っております。ワークショップの折に 2 泊 3 日の訪問の機会を与えてくださったこと感謝いたしております。また、グループリビング以外の新しい住まい方の見学も大いに勉強になりました。活動に参加して印象的だった点は、ワークショップへの参加者が思った以上に多かったことです。グループリビングへの関心が高まっていることは、協議会のみなさまの大きな成果であると感銘を受けました。一方で、グループリビングという住まい方への社会的理解を広めるためには、より多くの参加者が必要だとも考えます。

管見ではありますが、現在、多少の違いがあるとはいえ、居住者の高齢化、介護、居住者の「自立（自律）と共生」のとらえ方、資金に関すること、行政との関係などグループリビングの様々な課題がみえてきている時期かと思います。これらは、グループリビングにとどまらず、一人暮らしや家族と暮らす高齢者にも関わるテーマではないでしょうか。そうであれば、協議会がこれらの高齢期の住まい方の課題を多面的に議論するオープンな場となることで、社会に新たな住まい方の提示ができるのではないかと考えます。また、課題に取り組むために必要な「知恵」もこれまで以上に多方面から集まってくる可能性もあります。

さらに、難しい点であると思いますが、協議会と居住者の関係についても検討する必要があるように思います。居住者の意見や提案を取り入れることは、課題を共有するという点、居住者のグループリビングへの帰属意識の高まりと活性化という点からも検討に値すると考えます。

グループリビング運営協議会のネットワークや蓄積されたデータ、経験の集積は高齢社会にとって貴重なものだと思っております。今後一層のご発展を期待いたします。

ホームページのお知らせ

http://www.glnet-groupliving.org/

3 月末には、ワークショップの報告書や訪問記をアップする予定です。
HP をお持ちでしたら、リンクをよろしくお願いいたします

RING!RING! プロジェクト 競輪の補助事業

この会報は公益財団法人 JKA の補助によって、作成しています。

コミュニティカフェ特集　各地のグループリビングが取り組んでいます

★★★グリーンカフェ（福島福祉会）★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

福島福祉会では、2015 年 9 月から毎月第三水曜日午後 2 時から 4 時にグループリビングモーニングのアトリエでグリーンカフェを始めました！

「チラシを作って、老人会の集まりや民生委員さんの会議や定例会の時に持っていき、『ぜひいらっしゃってください』と声をかけています。栄養士にたこ焼きにする、と言ったら、『たこは危ないです』と言われて、チーズと干しエビを入れ作りました。地域の方からは一応お茶代ということで、１００円頂いております。体操や血圧測定もしています。地域のボランティアや民生委員さんも手伝ってくれて、一緒に和気あいあいとやっております。来週はマイクリスマスケーキを作ることになっています」（東広島ワークショップ清野恭子氏講演より抜粋）

お知らせ

今年の 4 月 15 日に法人会員の北海道登別市の NPO 法人いぶりたすけ愛が 20 周年を迎えます。
ますますのご発展をお祈り申し上げます。

編集後記　『鮭戻り白鳥の舞う幌別にしかと根付けるいぶりたすけ愛』（石原智秋氏作）、20 周年おめでとうございます！（な）